

## ミニ講座 「幼児期から児童期へ～幼小接続の立場から～」

2021 / 1 / 18

毎年、この時期のミニ講座は、幼小接続の話をしています。

「遊び中心の幼稚園で過ごした子どもたちは、小学校へ行って大丈夫なのだろうか。」そんな保護者の方々の不安や悩みを少しでも解消できたらと思い開催しています。

今年度は、附属小から一年担任の吉田先生、大学から幼児教育の森野先生、幼稚園から稲吉が話をしました。

幼稚園での遊びを「幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿」とからめて話をしました。子どもたちが遊んでいる場面のスライドを見てもらい、それがどのような意味があるのか、どのような学びへとつながって行くのかについて保護者に伝えました。ただ単に、遊んでいるだけではない「遊び＝学び」の姿を感じてもらえたようです。

小学校の先生からは、入学してから 3 日間の過ごし方についての話がありました。学習に入る前の基本的な生活習慣の段階でのお話でした。「返事やあいさつをすること」「自分で自分のことができること」「他者とよりよく関わること」など、小学校入学までの間に、見通しをもって、親子で取り組むことに気付かされた時間でした。

大学の先生からは、幼小接続において大切なことを教えてもらいました。頑張っている子どもに敬意を払い「対話型・共有型のしつけ」を行うことが大切だというお話がありました。

親子で会話を交わしながら、小学校への進学を楽しみに待つ、そんな親子の姿が浮かんできます。



附属小学校 吉田先生



長崎大学 森野先生